

学校教育目標

○生き生き学び ○力いっぱい活動し ○誰とでもなかよく

知

体

徳

＜目指す児童像＞

（知）自分を表現できる子

（体）自信にあふれる子

（徳）自分を認められる子



「できた・分かった」の
つぎやきがでる授業に



誰かのための
「一歩」をふみ出す子に



「ちがいを」分かって
助け合える子に

- 大里っ子4つのスタンダード・生活目標の徹底 90%
- 学習内容の明確な授業
「何をできるようにさせるのか」が明確で「どのように学ばせるか」を増やし「振り返り」を大切にする授業
- 「授業こそ子供と向き合う時間」「かまう」ことを意識した授業実践 90%
- ICTと活字のよさのバランスを図った授業実践
- 「新熊谷プロジェクト」（総合的な学習の時間を主体とする）による汎用的能力の育成
- モジュール・宿題の見届け・授業中の個別指導、くまなびスクールの実施で個に応じた指導

- 運動量のある、汗をかく体育授業の実施
業間運動の工夫・充実 通年90%
- 新体力テストA+B+C 割合 85%
- 保健指導・保健委員会を主体とした保健活動
（性の多様性に関する児童理解・指導の充実）
- OSOS を出す力の育成（避難訓練や安全指導、
学級指導で命・健康・安全を守る力の育成）
- 安心・安全な学習環境整備

- 児童が認め合い、支え合い、高め合う居心地のよい学級づくり・学校づくり
- 読書活動の推進（低50冊/中100冊/高50冊）
- 児童一人一人の個性に応じた生徒指導
- 学んだ事の見える化の実践（自尊感情の向上）
- 学校は小さな社会であることの浸透
（自律を目指した教育活動の充実）
- 不登校の未然防止（元気に来たら元気に帰す）

新熊谷プロジェクトの推進 ～学ぶたのしさにあふれ、児童や教職員一人一人が多様に輝く「ありがとう」いっぱいの学校～

家庭

- PTA活動
- 授業参観
- お便り・HP
- 学校評価

大里中・吉見小・市田小

市田小 4つのスタンダード

＝あたりまえのことがあたりまえにできる！＝

- ◆あいさつを大きな声でします。
「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」
- ◆話を最後までしすかに聞きます。
- ◆正しい姿勢で学習します。『グー・ベタ・ピン・サツ』
- ◆家庭学習を毎日します。『学年×10分』

学校

【学校研究課題】令和7・8年度 算数科

学力の基礎基本を身に付け物事を解釈する力を高める学習指導

郷土熊谷・地域

- 学校応援団
- ボランティアパトロール
- 校区連絡会
- 畑・稲づくり

＜めざす教師像＞

知・徳・体の学力をつけることに
全力で取り組む教師
子供達と本気で向き合う教師
報連相で課題を解決できる教職員
チームワークを大事にする教職員
心身の健康が保てる教職員

＜市田小学校 生徒指導心得＞

- (1) 誰にでもわかる授業を工夫し確かな学力をつけることに全力で取り組みます
- (2) みんなで徹底してかまひ、笑顔いっぱい褒めて伸ばします
- (3) いざという時、迅速に全員で動きます。一秒でも早くプロの手に渡します
- (4) 潤いのある環境づくりに努めます
- (5) 家庭と仕事のバランスを意識します

各学年の児童数 R7.5.1現在

学年	ひまわり	ひばり	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
学級	1(知)	1(徳)	1組	1組	1組	1組	1組	1組	
児童数	男	4	4	9	12	10	10	11	79
	女	2	1	14	6	15	12	10	73
	計	6	5	23	18	25	22	21	152
	ひ組			1	1	4	1	4	11
家庭数		4	0	6	9	11	14	16	85